

札幌中央消防署の使用済み食用油の回収箱



消防署で廃食油回収

札幌市 拠点185カ所に拡大

札幌市内の一般家庭から排出された使用済み食用油をリサイクルしている市は十九日から、すべての消防署と出張所で廃油回収を始めた。

札幌市内の一般家庭から排出された使用済み食用油をリサイクルする対象は、天ぷら油やごま油などの植物油で、回収後は委託業者がバイオディーゼルの原料(BDF)に精製し、ごみ収集車などで利用されている。

同市は二〇〇六年に一般家庭の使用済み食

用油のリサイクルを開始。張所が計五十四カ所あり、回収拠点は既存のスーパーなどを合わせ百八十五カ所に拡大した。市は「回収量の増加が期待できる」と話している。

消防署と出張所での回収方法は、五百リットルのペットボトルに廃油を入れ、市民に持参してもらう。引き換えに火災予防を訴えるティッシュなどを渡し、市民に防火を訴える。回収時間は午前七時～午後十時だが、出張所は無人と出る出動時には引き受けない。

市によると、二〇〇八年度は四月から十二月までで約二万七千七百リットルの使用済み食用油を回収し、約二万六千リットルのBDFに再生した。

(宇佐美裕次)